

どこで呼吸が詰まる

睡眠時無呼吸症候群をとりまく病気

2010年7月

六月号に書きました通り、長男の「睡眠時無呼吸症候群」、次男の「上気道抵抗症候群」、三男の「単純いびき症」の三兄弟の発病する原因は共通しております。今回は、その原因について説明します。

この図は、無呼吸（窒息ともいいます）で息が詰まった状態を示します。この状態になれば、鼻からも口からも息が入りません。詰まっているところ、それは鼻でも喉（のど）でもありません。口の奥、舌と軟口蓋（俗にのどちんこ）が重なった部分で詰まるのです。

舌が奥に下がった隙間にのどちんこが吸い込まれて無呼吸が起こるのです。のどちんこは上顎から垂れ下がり、舌は下顎から垂れ下がっていますので、上顎の位置が後ろに下がるほど、下顎の位置が後ろに下がるほど、無呼吸が起こりやすくなるのです。

顎の位置や形は生まれつきのもの（家族で遺伝します）ですので、これが第一番目の原因になるのです。

